

第37回 諸外国からの期待高まる

上海の友人が8月、沖縄、北海道、大阪へと15泊の日本旅行に家族、友人も含めて総勢10名で来られました。初めて日本を訪問する方は6名いました。参加者全員がそれぞれの地域で食べ物のおいしさや海の透明感、空の青さ、自然の雄大さ、水・空気のおいしさ、人のやさしさ等について語り尽くせないほど感動されたそうです。

友人が日本を堪能頂き、嬉しい反面、私達日本人がそれらの素晴らしい文化が当たり前であると捉えるのではなく、改めてその文化を見直せば、まだまだ沢山の感動が発見できるのではないかと、ということに気が付かれました。

日本経済復興のひとつで

ある観光産業を政府、民間で見直していけばまだまだ未知なる可能性があります。日本はまだまだ捨てたものではないと実感しました。



中国人の個人旅行・団体旅行先の満足度調査では、1位カナダ、2位フランスで日本は9位に入っています。中国人が好きなアジア圏の旅行先は韓国、タイ、マレーシアだそうです。

日中政府間は冷め切った状況が続いていますが中国市民は、日本に対し憧れを抱いており、認知も広がっています。しかし、まだまだ

今後5年間で勝負

だ海外旅行者目線の創意工夫が日本には必要です。

年間約1億人が海外に行くほど、中国での海外旅行志向はますます高まっております。海外消費額約10兆円に達し、海外旅行マーケットが世界最大規模になり、中国に対する期待度が高まっています。

富裕層が増え続ける中国においてシニアマーケットにも世界各国から参入事業者が虎視眈々と狙っています。中国の成長力、人口規模からの高齢化等を考えれば、ここ5年で大きく進展する事は間違いないと見られます。弊社もここ5年間で上

介護 Biz

ゲストハウス社長 松山英樹



中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リポートシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。